

地域中核・特色ある研究大学 の振興について

総合振興パッケージによる支援全体像

- 大学が、自身の強みや特色を伸ばす戦略的経営を展開することで、ポテンシャルを抜本的に強化（**大学が変わる**）
- 大学が拡張されたポテンシャルを社会との協働により最大限発揮し、主体的に社会貢献に取り組むことで、社会を変革（**社会が変わる**）

① 大学自身の取組の強化

「大学自身の取組の強化」の主な具体策

○ 魅力ある拠点形成による大学の特色化

- ✓ 強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下、研究活動の国際展開や社会実装の加速等を実現できる環境整備を支援する、「**地域中核・特色ある研究大学強化促進事業**」を基金により創設

○ 大学の研究環境（基盤）やマネジメントの強化

- ✓ 「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」の提示により、研究基盤を全学的な研究マネジメントの一環として位置づけ、戦略的な運営を促進

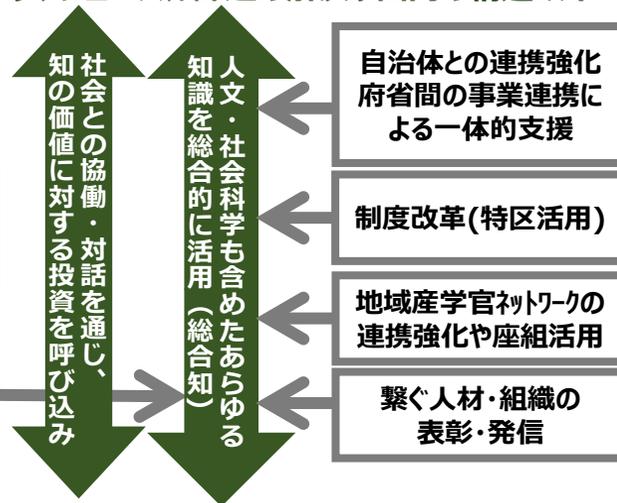
○ 組織間連携・分野融合による研究力の底上げ

- ✓ 国際卓越研究大学や大学共同利用機関等がハブとなり、人材の流動性向上や共同研究の促進、リソースの共有等を図り、我が国全体の研究力向上を牽引する研究システムを構築

地域・社会・ステークホルダー

～地域の社会経済の発展に留まらず、グローバル課題の解決や国内の構造改革・社会変革を牽引～

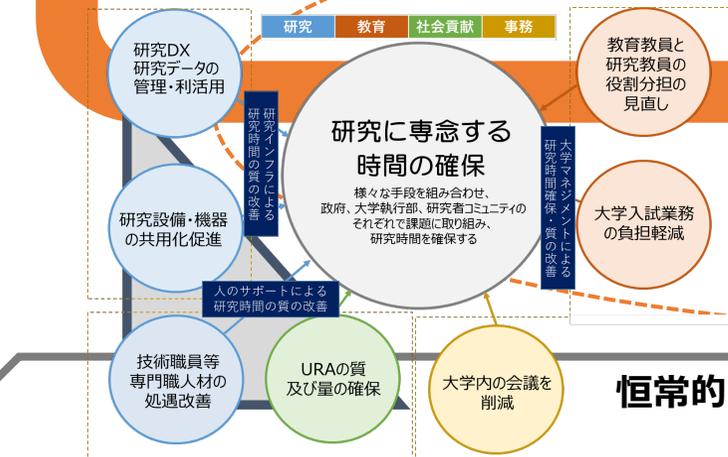
先端的な取組に
ドライブをかける
支援の仕組み



③ 地域社会における大学の活躍の促進

② 繋ぐ仕組みの強化

総合振興パッケージを通じ、大学の戦略的経営を後押しすることで、
大学現場における研究に専念できる時間を確保
(大学の研究マネジメントに着目した政策との連動)



大学による
強みや特色を伸ばす戦略的経営の展開
(大学のマネジメント改革を促進)

恒常的に大学の強みや特色を伸ばすための体制づくり
(基盤的な活動を支援)

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

令和4年度第2次補正予算額 1,498億円



文部科学省

背景・課題

- 近年、我が国の研究力の低下が指摘されている中、**日本全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のため**には、大学ファンドによる国際卓越研究大学と、**地域中核・特色ある研究大学*が共に発展するスキームの構築が必要不可欠**
- * ①強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能、②地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能、③地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、地方自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、地域課題解決をリードする機能：これらのいずれか又は組み合わせた機能を有する大学
- そのためには、地域中核・特色ある研究大学が、特色ある研究の国際展開や、地域の経済社会や国内外の課題解決を図っていくよう、特定分野の強みを核に大学の活動を拡張させるとともに、大学間での効果的な連携を図ることで、研究大学群として発展していくことが重要

事業内容

研究力の飛躍的向上に向けて、**各大学が10年後の大学ビジョンを描き、そこに至るための、強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下**、大学間での連携*も図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要なハードとソフトが一体となった**環境構築の取組を支援**

* 連携を行うことが目的ではなく、学内に不足するリソースや課題を戦略的に補完するために連携

【事業概要】

- 事業実施期間：令和5年度～（5年間、基金により継続的に支援）
- 支援件数：最大25件程度
- 支援対象：**強みや特色ある研究や社会実装の研究拠点**（WPIやCOI-NEXT等の拠点形成事業、地方自治体・各府省施策、大学独自の取組等によるもの）**等を有する**国公私立大学のうち、**研究力の向上戦略を構築した上で、全学としてリソースを投下する大学**
 - ※ 5年度目を目途に評価を行い、進捗に応じて、必要な支援を展開できるよう、文部科学省及びJSPSにおいて取組を継続的に支援（最長10年を目途）
- 支援内容：
 - A) **戦略的実行経費**（最大25億円程度（5億円程度／年）／件）
研究戦略の企画・実行、技術支援等を行う専門人材の人件費、調査その他研究力の向上戦略の実行に必要な経費
 - B) **研究設備等整備経費**（最大30億円程度／件）
研究機器購入費、研究・事務DX、研究機器共用の推進を含む研究環境の高度化に向けて必要となる環境整備費等

【支援のスキーム】



- 強みを有する大学間での連携による相乗効果で、研究力強化に必要な取り組みの効果を最大化
- 特定領域のTOP10%論文が世界最高水準の研究大学並みに
- 強みや特色に基づく共同研究や起業の件数の大幅増加、持続的な成長を可能とする企業や自治体等からの外部資金獲得
- ✓ 研究を核とした大学の国際競争力強化や経営リソースの拡張
- ✓ 戦略的にメリハリをつけて経営リソースを最大限活用する文化の定着

**我が国の科学技術力の飛躍的向上
地域の社会経済を活性化し課題解決に貢献する研究大学群の形成**

国/公/私	提案大学 (連携大学*) 参画機関*	
国立大学 (9)	北海道大学 The University of Melbourne/University of Massachusetts Amherst/北海道立総合研究機構/室蘭工業大学/小樽商科大学/帯広畜産大学/北見工業大学	フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開
	千葉大学★ 東京大学/筑波大学/東京理科大学 生命医科学研究所/理化学研究所/量子科学技術研究開発機構/University of California San Diego, Center for Mucosal Immunology/University of California San Diego, Allergy and Vaccine/University of California San Diego, Center for Microbiome Innovation	免疫学・ワクチン学研究等を戦略的に強化し、成果の社会実装に繋がるとともに、取組を学内に横展開する
	東京農工大学★ (電気通信大学/東京外国語大学) University of Hawai'i at Mānoa/The University of Queensland	西東京の三大学が食とエネルギー研究を海外展開し、国際イノベーション創出するための研究力強化を推進する
	東京芸術大学★ (香川大学) 東京大学/東京医科歯科大学/東京工業大学	アートと科学技術による「心の豊かさ」を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開
	金沢大学★ (北陸先端科学技術大学院大学) 東京大学	予測不可能な時代の社会変革を主導する文理医融合による非連続的なイノベーションを起こす世界的拠点の形成
	信州大学★ 山梨大学/東京大学/名古屋大学/東京理科大学/ダルエスサラーム大学/ネルソン・マンデラアフリカ科学技術大学/エルドレッド大学/チュラロンコン大学/モンクット王工科大学/ラートクラバン校/ヴェトナム国家大学/北京化工大学/サウジアラビア海水淡水化公社	水関連先鋭研究を核に、研究の卓越性、イノベーション創出、地域貢献を三本の矢として一体推進する
	神戸大学★ (広島大学) 大阪大学/理化学研究所/The University of Manchester/Université de Toulouse/The University of Illinois at Urbana-Champaign/National University of Singapore/The University of Texas at Austin	バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界をリードするイノベーションを継続的に創出
	岡山大学★ 筑波大学/東京大学/東京工業大学/山梨大学/大阪大学/山口大学/理化学研究所/自然科学研究機構/津山工業高等専門学校	地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～
	広島大学★ (神戸大学) 東北大学/東京医科歯科大学/東京工業大学/豊橋技術科学大学/高エネルギー加速器研究機構/アリゾナ州立大学/パデュー大学	放射光による物質の見える化技術を核とした半導体・超物質及びバイオ領域融合型産業集積エコシステムの実現

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」(本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学)、小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

国/公/私	提案大学 (連携大学 [※]) 参画機関 [※]	
公立大学 (1)	大阪公立大学★ (長岡技術科学大学) <small>東北大学/奈良女子大学/徳島大学/大阪公立大学工業高等専門学校/ニューメキシコ大学/ブラウン大学/王立ブロンベン大学/国立台南大学/バンヤピワット経営大学</small>	イノベーションアカデミー事業の推進によるマルチスケールシ ンクタンク機能を備えた成熟都市創造拠点の構築
私立大学 (2)	慶應義塾大学★ (沖縄科学技術大学院大学) <small>King's College London/University of Cologne/Yonsei University/Northwestern University</small>	智徳の協働で、多様な研究拠点を生み出し育む「土壌」を醸成 し、比類なき研究で未来のコモンセンスをつくる
	沖縄科学技術大学院大学★ (慶應義塾大学、琉球大学) <small>東京大学/東北大学/大阪大学/九州大学/理化学研究所/University of Cambridge/Max Planck Institute/Stanford University/Scripps Institution of Oceanography, UC San Diego/University of Hawaii/Centre national de la recherche scientifique/Chalmers University of Technology/University of Oxford</small>	【OIST-neXus戦略】 国際卓越性追求、破壊的イノ ベーション創出、沖縄振興、ゲートウェイ機能強化

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」(本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学)、
 小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

採択大学：12 (国立9、公立1、私立2)

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会 委員名簿

- | | |
|---------|------------------------------|
| 上山 隆大 | 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員 |
| ○ 坂田 一郎 | 東京大学大学院工学系研究科 教授 |
| 佐藤 康博 | 株式会社みずほファイナンシャルグループ 特別顧問 |
| 高橋 真木子 | 金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 教授 |
| 西村 訓弘 | 三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教授 |
| 長谷川 眞理子 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 |
| 波多野 睦子 | 東京工業大学工学院 教授 |
| 福田 秀樹 | 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 機構長 |
| 福田 裕穂 | 公立大学法人秋田県立大学 理事長・学長 |
| 福原 紀彦 | 日本私立学校振興・共済事業団 理事長 |
| ◎ 山崎 光悦 | 福島国際研究教育機構 理事長 |

◎ : 委員長 ○ : 副委員長

(50音順・敬称略)

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会における審査の過程（令和5年度）

令和5年 4月28日（金）	事業推進委員会（第1回）	（公募要領等の審議）
5月17日（水）	事業推進委員会（第2回）	（公募要領等の決定）
5月26日（金）	公募開始	
6月7日（水）	公募説明会	
6月20日（火）		
～6月26日（月）	申請意思表明書提出期間	
7月13日（木）	事業推進委員会（第3回）	（審査の進め方の審議）
7月26日（水）	申請調書提出期限	
8月上旬		
～9月下旬	一次審査（書面審査）	
10月16日（月）	事業推進委員会（第4回）	（一次審査評価結果に基づく二次審査（ヒアリング）対象大学の選定）
11月上旬		
～11月中旬	二次審査（ヒアリング）	
12月5日（火）	事業推進委員会（第5回）	（ヒアリング審査を踏まえた審議）
12月18日（月）	事業推進委員会（第6回）	（採択候補大学の選定）
12月22日（金）	採択大学の決定・公表	

※「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」については、「事業推進委員会」と記載。

令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」の審査における地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会の総評①

令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」の申請において、69の大学が意欲的な提案を提出されたことに対し本委員会として心より敬意を表します。

各大学からの提案では、大学が自らの課題に真摯に向き合いつつ、10年後に目指す姿を構想し、それに向けて強化が必要な研究分野や社会実装を目指すテーマを見出した上で、研究力の向上戦略とそれを実現するための計画が構想されていました。

その中でも特に採択大学については、主に、以下の点について総合的に勘案し、高く評価しました。10年後には、これらの大学が世界の中で輝く大学となることを期待します。

- ① 客観的かつ多面的なアウトプット・アウトカム指標から大学の研究力を十分に分析していること
- ② 戦略の実現に向けて学長を中心とした取組が着実に実施されるよう、大胆かつ実効的な計画やロードマップを設けていること
- ③ 改革について大学全体への波及効果を期待できること
- ④ 地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能や体制が整備されていること
- ⑤ 地域社会との実効的な連携の下で地域課題解決に貢献しうる計画となっていること
- ⑥ 他機関との効果的な連携等を通じて自大学の強みを更に発展させる戦略となっていること
- ⑦ 戦略の推進に必要なガバナンス体制が整備されていること

令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」の審査における地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会の総評②

なお、意欲的な取組が多いがゆえに困難な道のりとなることも考えられます。文部科学省及び日本学術振興会には、外部有識者の知見も活用しつつ、各大学の主体的な取組を尊重した、大学に寄りそった支援を求めます。

不採択大学についても、学長を中心に全学的な戦略の検討を行い、本事業に対し、意欲的な提案を申請されたことは大いに評価しています。しかしながら、戦略やそれを実行するための計画については、その解像度を高めたり、具体化を進めたりするための掘り下げた検討が必要と考えられ、今回の採択の水準には達していないと判断しました。

これらの大学も含め、次回の公募に向けた研究力の向上戦略等の検討にあたっては、今後公表される採択大学の取組内容等も参考にして、より一層の検討を求めます。

本委員会としては、今年度採択された大学が日本を代表する地域中核・特色ある研究大学へと発展されることを強く期待します。また、次回公募においても、日本の研究力をけん引する研究大学群の一翼を担おうとする多くの大学から意欲的な提案がなされることを希望します。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS） 事前相談の受付について

- 令和6年度の公募の詳細は準備が整い次第JSPSにおいて公開予定です。
- 公募開始までは申請にあたっての事前相談を受け付けております。
オンラインでの相談も可能です。
- 事前相談をご希望の場合は、
文部科学省HP上に掲載している
下記申込フォームからお申込みください。
- 【申込フォーム】
<https://forms.office.com/r/SGXCMDqBA1>

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS） 令和6年度公募に係る事前相談申込フォーム

